

SHOWA

GP Series **A-KIT** for KTM
Front Fork & Rear Cushion



オーナーズマニュアル

⚠️ ご使用になる前に本オーナーズマニュアルをよくお読みになりお使いください。

No. T634000-OMJ1

はじめに

SHOWA A-KIT フロントフォークとリヤクッションをお買い上げいただきありがとうございます。A-KIT はレース専用として最高峰の性能と耐久性を持つサスペンションキットです。AMA スーパークロス選手権、世界最高峰のモトクロス世界選手権、ダカールラリーなどで培ったノウハウを織り込んでいます。




このオーナーズマニュアルは、A-KIT の取り付け、取り扱いおよび調整について解説したものです。本書をよくお読みいただき、記載されている内容を遵守していただくようお願いします。

取り付け、取り扱いおよび調整は必ず専門的な知識および技術を持つ販売店もしくは取り付け店で実施してください。スプリング交換、ダストシールとオイルシール交換は必ず販売店もしくは取り付け店で行ってください。

本製品はレース専用のため保証対象外商品です。あらゆる用途、場所での使用、保有に伴う保証はありません。本書、車両に付属するマニュアルを遵守して安全に使用してください。詳細は販売店にお問合せください。






正しく取り扱っていただくために

本書では本製品を安全に取り付けていただくと同時に、ご使用になる方や他の人への危害、財産へ損害を未然に防止するための、守っていただきたい事項を下記の「シンボルマーク」で表示しています。この「シンボルマーク」の意味を十分にご理解のうえ、本書をお読みいただくようお願いします。

	安全警告記号です。人身傷害の危険性がある場合にこの記号で注意を喚起しています。この記号に続くすべての安全事項を守り、傷害や死亡事故を防止してください。
 警告	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示しています。
要点	作業時に気をつける点や、整備上のポイントを記載しています。

本書で使用しているアイコンの説明

本書では、点検および分解整備作業がスムーズに進むよう、イラスト中に以下のアイコンを表示して作業を促しています。

アイコン	説明
	締め付けトルクを指定しています。
	圧入部品を示しています。適切なアダプターを使用して圧入してください。
	クランプする部分を示しています。部品の変形を防止するため、必ず指定された部分でクランプしてください。
	リキッド O リング #400 を塗布する箇所です。
	新品の部品に交換します。

安全上のご注意

取り付け時の注意

⚠ 警告	<p>フロントフォークとリヤクッションユニットの交換には専門的な知識が必要です。専門的な知識のない者が取り付け作業を行い、誤った状態で取り付けられた場合、車両の故障や事故に至る可能性があります。</p> <p>交換作業は必ず専門的な知識および技術を持つ販売店もしくは取り付け店で実施してください。</p>
	<p>改造した車両に本製品を取り付けると、機能や性能を損なう可能性があります。取り付けの場合は、メーカー純正の車両状態において取り付けてください。</p>

⚠ 注意	<p>本製品は精密機械部品です。</p> <p>落下、打撃、衝撃を与えると変形や打痕により、機能や性能を損なう可能性があります。取り扱いおよび取り付けのときは落下、打撃、衝撃を与えないでください。</p>
	<p>1人で作業をしていると、車両や部品を保持するときに対応できない場合があります。取り外し・取り付けの作業は、必ず2名以上で実施してください。</p>
	<p>車両への取り付けの際は、車両メーカーのサービスマニュアルに記載されている事項を遵守してください。</p>

使用時の注意

⚠ 警告	<p>本製品には高圧窒素ガスが充填されています。</p> <p>分解や窒素ガスの再充填は、本製品が破裂して重傷を負う可能性があります。炎にさらしたり、穴を開けたりすると、本製品が破裂して重傷を負う可能性があります。交換と廃棄は、指定の販売店もしくは取り付け店で行ってください。</p>
------	--

⚠ 注意	<p>本製品には性能維持のための推奨点検項目があります。</p> <p>点検を怠り、不具合を放置すると機能や性能を損なう可能性があります。使用時には本書に記載された点検項目を必ず実施してください。</p>
	<p>油脂類は SHOWA 指定のものを必ず使用してください。</p> <p>指定油脂を使用しなかった場合、機能や性能を損なう可能性があります。</p>

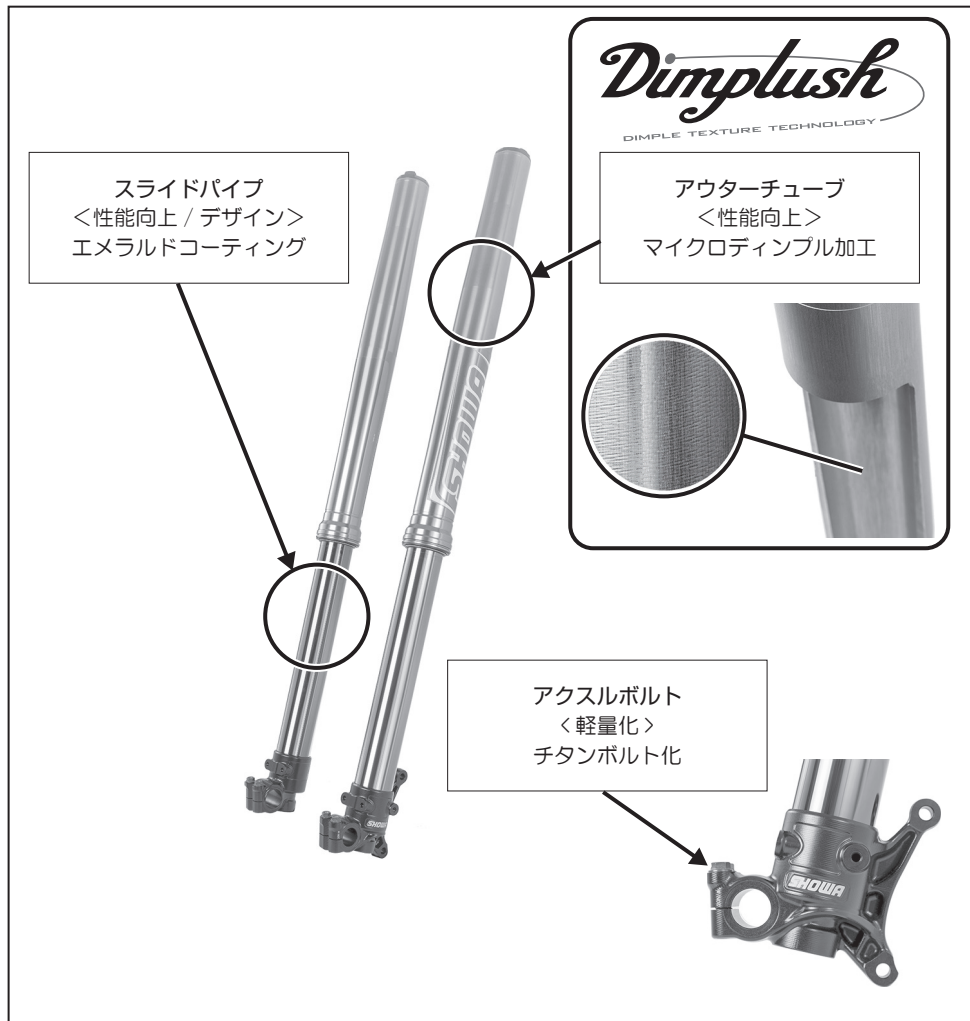
目次

フロントフォークの概要.....	1	●スライドパイプ COMP の	
製品特長.....	1	アウターチューブへの取り付け.....	15
仕様一覧.....	2	フロントフォークの	
推奨点検項目.....	2	トラブルシューティング.....	17
調整方法.....	2	リヤクッションの概要.....	18
●大気圧調整.....	2	製品特長.....	18
●コンプレッション調整.....	3	仕様一覧.....	19
●リバウンド調整.....	3	推奨点検項目.....	19
オプションパーツのお知らせ.....	4	調整方法.....	19
フロントフォークの取り付け方法		●高速側コンプレッションの調整.....	19
(標準仕様からの交換).....	5	●低速側コンプレッションの調整.....	20
交換前車高測定.....	5	●リバウンド減衰力の調整.....	20
取り付け.....	5	●スプリング取り付け長さの調整.....	21
交換後車高測定.....	6	オプションパーツのお知らせ.....	21
フロントフォークのスプリングの		リヤクッションの取り付け方法	
交換方法.....	7	(標準仕様からの交換).....	22
取り外し.....	7	交換前車高測定.....	22
●クッション S/COMP の取り外し.....	7	取り付け.....	22
●アウターチューブ内の作動フォーク		交換後車高測定.....	22
オイルの排出.....	7	リヤクッションのスプリングの	
●スプリングの取り外し.....	8	交換方法.....	23
取り付け.....	10	取り外し.....	23
●スプリングの組み付け.....	10	●スプリングの取り外し.....	23
●センターボルト COMP の		取り付け.....	23
取り付け.....	10	●スプリングの取り付け.....	23
ダストシールおよびオイル		リヤクッションの	
シールの交換方法.....	14	トラブルシューティング.....	25
取り外し.....	14		
●ダストシール、ストッパーリングの			
取り外し.....	14		
●スライドパイプの取り外し.....	14		
取り付け.....	15		
●スライドパイプ COMP の			
組み立て.....	15		

フロントフォークの概要

製品特長

KTM 車両向けの A-KIT のフロントフォークは、AMA および MXGP で実証されたサスペンション技術をフィードバックしています。最先端技術の「Dimplush」を、アウターチューブに適用して、性能の向上を行っています。さらに、「エメラルドコーティング」をスライドパイプに適用して、性能向上とデザイン性の向上を行っています。また、アクスルボルトにチタンボルトを採用して、軽量化を行っています。



フロントフォークの概要

仕様一覧

スプリング	レート (N/mm)	4.8
作動オイル	油種	A15-00
	ダンパー内油量	243 cc
	アウターチューブ油量	320 cc
減衰力	コンプレッション	Max - 20 クリック
	リバウンド	Max - 20 クリック

推奨点検項目

	走行前	半年	1年
外観の異常確認、ボルトの抜け、亀裂、ゆがみ等	✓	✓	✓
フロントフォークの作動確認	✓	✓	✓
フロントフォークのオイル漏れ	✓	✓	✓

調整方法

●大気圧調整

1. 車両を垂直の状態にして、前輪を浮かせた状態で左右のフロントフォークの内圧を大気圧にします。
2. プラグボルト①を完全に緩めてください。
3. プラグボルトを取り付け、指定トルクで締め付けてください。

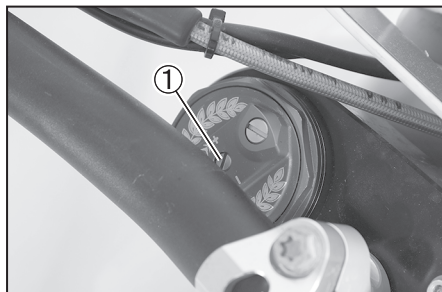
締め付けトルク：1.3 N・m



フロントフォークの概要

●コンプレッション調整

1. コンプレッションアジャスタ①を時計回転方向に、止まるまで回します（最強の位置）。
2. 反時計回転方向に、1クリックずつ回します。20クリックが標準位置になります。
3. 標準位置から時計回転方向に回すと強くなり、反時計回転方向に回すと弱くなります。



⚠ 注意

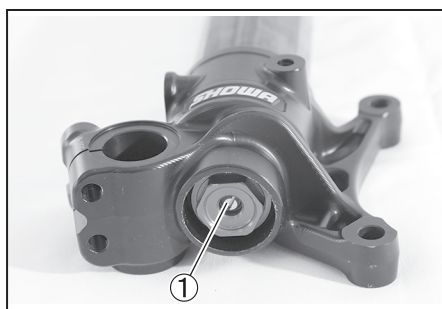
最強位置および最弱位置から、さらに回さないでください。フロントフォークの破損の原因となります。

【要点】

- 左右同じ位置になるように調整してください。
- 必ず最強位置から調整を始めてください。
- 最弱位置から最強位置まで32クリック（8クリック / 1回転）以上調整できます。
- コンプレッションアジャスタは必ずクリック位置で止めてください。

●リバウンド調整

1. センターボルト COMP のリバウンドアジャスタ①を時計回転方向に、止まるまで回します（最強の位置）。
2. 反時計回転方向に、1クリックずつ回します。20クリックが標準位置になります。
3. 標準位置から時計回転方向に回すと強くなり、反時計回転方向に回すと弱くなります。



⚠ 注意

最強位置および最弱位置から、さらに回さないでください。フロントフォークの破損の原因となります。

【要点】

- 左右同じ位置になるように調整してください。
- 必ず最強位置から調整を始めてください。
- 最弱位置から最強位置まで32クリック（8クリック / 1回転）以上調整できます。
- リバウンドアジャスタは必ずクリック位置で止めてください。

フロントフォークの概要

オプションパーツのお知らせ

車高調整やセッティング変更の幅を広げるため、交換用のスプリングをオプションパーツとして設定しています。購入の際は、指定の販売店にご相談ください。

レート (N/mm)	仕様
5.0	ハード
4.8	スタンダード
4.6	ソフト

フロントフォークの取り付け方法（標準仕様からの交換）



必ず専門的な知識および技術を持つ販売店もしくは取り付け店で取り付け作業を行ってください。

フロントフォークを交換するときは、必ず以下の要領で車両姿勢の調整を実施してください。

交換前車高測定

1. 車両を地面に置いた状態で前輪のアクスルシャフトからトップブリッジまでの距離を測定し、値を記録します。
2. ライダーが乗車した状態で同様に測定し、値を記録します。
3. 車両をジャッキアップし、前輪が下がりきった状態で同様に測定し、値を記録します。

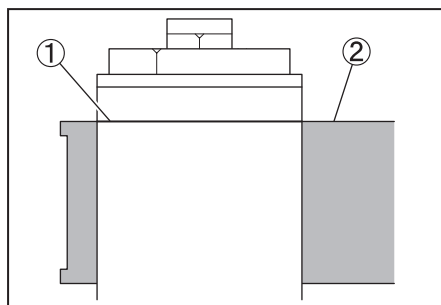
取り付け

1. 車両のフロントフォークを取り外します。

【要点】

フロントフォークの取り外し方法については、車両メーカーのサービスマニュアルを参照してください。

2. A-KIT フロントフォークを車両に取り付けます。
 - A-KIT フロントフォークの溝①をアッパートリプルクランプの上端②に合わせて取り付けてください。

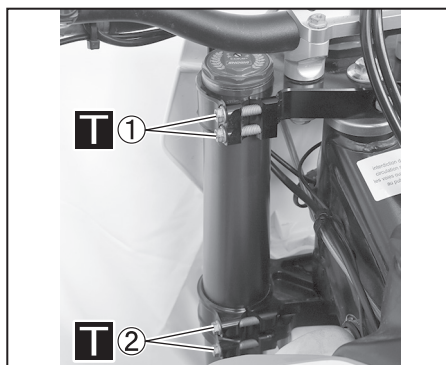


3. 左右のアッパートリプルクランプのスクリュー①を指定トルクで締め付けてください。

締め付けトルク：17 N・m

4. 左右のロアトリプルクランプのスクリュー②を指定トルクで締め付けてください。

締め付けトルク：12 N・m



フロントフォークの取り付け方法（標準仕様からの交換）

5. 左右のフォークカバーを取り付けてください。

【要点】

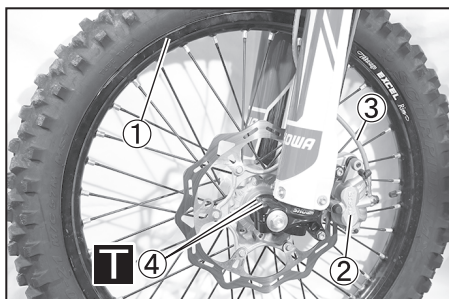
フォークカバーの取り付け方法については、車両メーカーのサービスマニュアルを参照してください。



6. フロントホイール①とブレーキキャリパー②およびブレーキホース③を取り付けてください。

【要点】

フロントホイールとブレーキキャリパーおよびブレーキホースの取り付け方法については、車両メーカーのサービスマニュアルを参照してください。



7. アクスルホルダーのスクリュー④を指定トルクで締め付けてください。

締め付けトルク：20 N・m

交換後車高測定



警告

交換後は、フロントフォークのキャスター角が交換前の状態から変化しています。そのまま走行すると、車両の挙動が不安定になったり、ブレーキフィーリングが変化したりして非常に危険です。走行前に必ず車両姿勢の調整を実施してください。



注意

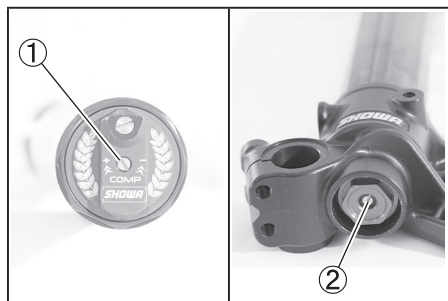
セッティングの問題が解決しないときは、SHOWA 製品取り扱いの販売店にご相談ください。

フロントフォークのスプリングの交換方法

取り外し

●クッション S/COMP の取り外し

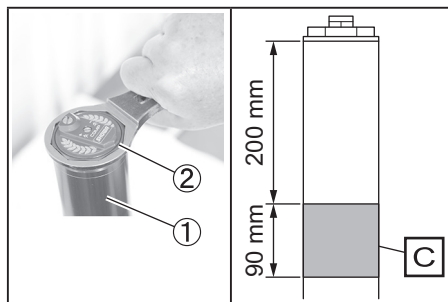
1. コンプレッションアジャスタ①とリバウンドアジャスタ②の現在の位置を記録します。
2. コンプレッションアジャスタとリバウンドアジャスタを反時計回転方向に回し、最弱位置にします。
3. フロントフォークを分解する前に、フォーク（特にスライドパイプ摺動部、センターボルト周辺部）を清掃してください。



4. アウターチューブ①を [C] 部でクランプして、専用工具を使用して、クッション S/COMP ②を取り外します。

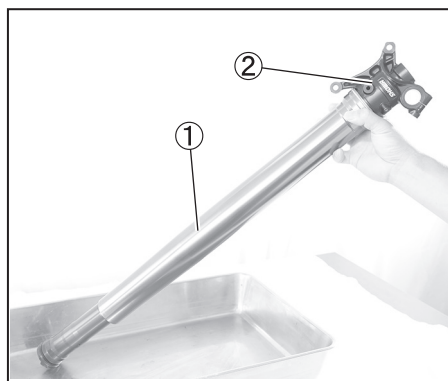
【要点】

専用工具：ロックナットレンチ、50 mm



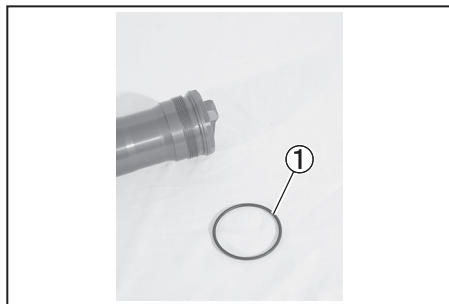
●アウターチューブ内の作動フォークオイルの排出

1. アウターチューブ①のダストシールがアクスルホルダー②にあたるまで、アウターチューブをゆっくりと下げてください。
2. アウターチューブ①を数回ゆっくり伸縮させ、アウターチューブ内のオイルを抜き取ります。



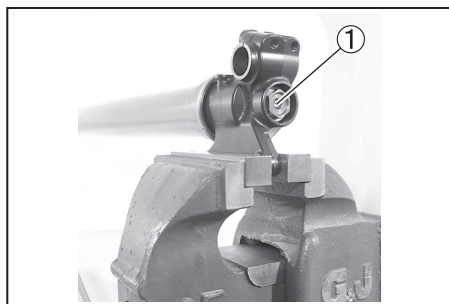
フロントフォークのスプリングの交換方法

3. クッションS/COMP からOリング①を取り外します。



●スプリングの取り外し

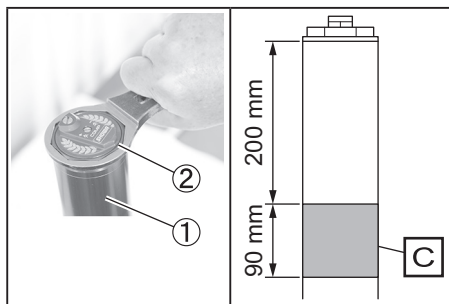
1. アクسلホルダー部をウエスなどで保護し、バイスで固定します。
2. センターボルト①を緩めます。



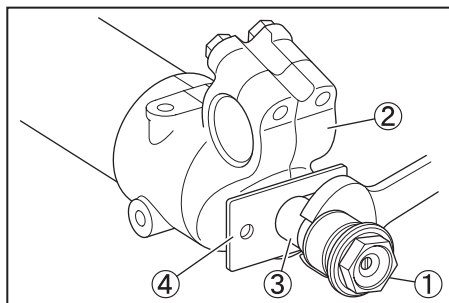
3. アウターチューブ①を[C]部でクランプして、専用工具を使用して、クッションS/COMP ②を一時的に取り付けます。

【要点】

専用工具：ロックナットレンチ、50 mm



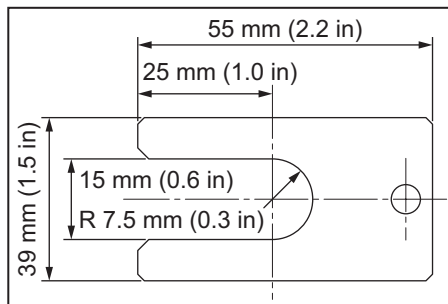
4. アウターチューブを押しつけてセンターボルト①をアクセルホルダー②から押し出します。
5. アウターチューブを押しつけた状態で保持し、アクセルホルダーとロックナット③間にストッパープレート④を取り付けます。
6. ロックナットを緩めて、センターボルトCOMPを取り外します。



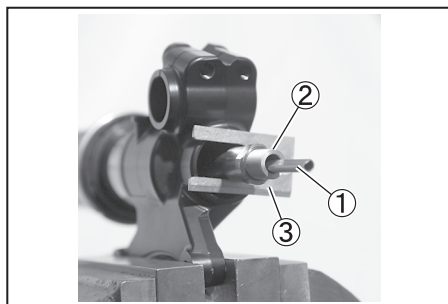
フロントフォークのスプリングの交換方法

【要点】

ストッパープレートは、図を参照して、厚さ 2.0 mm で製作してください。



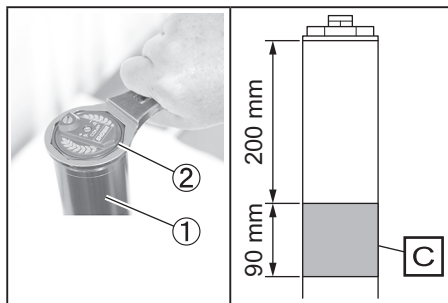
7. プッシュロッド①をピストンロッド COMP ②から取り外します。アウターチューブを押し込んだ状態で保持し、ストッパープレート③を取り外します。フロントフォーク ASSY をバイスから取り外します。



⚠ 注意

ストッパープレートを取り外すとき、スプリングの反力でクッション S/COMP が飛び出します。クッション S/COMP をアクスルホルダー方向に押さえながら、ストッパープレートを取り外してください。

8. アウターチューブ①を [C] 部でクランプして、専用工具を使用して、クッション S/COMP ②を取り外します。



9. フロントフォーク ASSY からスプリングを取り外します。

フロントフォークのスプリングの交換方法

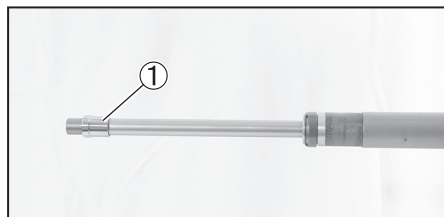
取り付け

●スプリングの組み付け

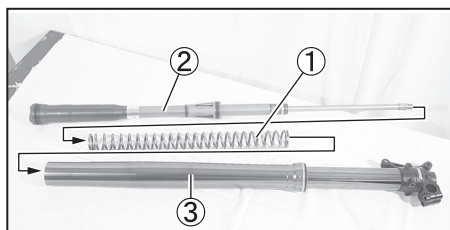
1. ダンパー COMP のピストンロッド端にあるロックナット①の着座を確認します。

【要点】

ダンパー COMP に付着したオイルを拭き取ります。



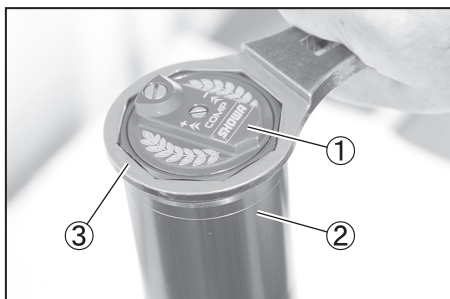
2. スプリング①とダンパー COMP ②に付着している作動フォークオイルを除去してください。
3. ダンパー COMP にスプリングを取り付けて、フロントフォーク ASSY ③に挿入します。



4. 専用工具を使用して、クッション S/COMP ①をアウターチューブ②に仮締めします。

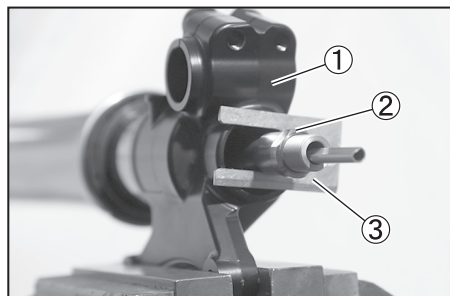
【要点】

専用工具：ロックナットレンチ、50 mm ③



●センターボルト COMP の取り付け

1. アクスルホルダーをウエスなどで保護し、バイスで固定します。
2. アウターチューブを押ししてロックナット②をアクスルホルダー①から押し出します。
3. アウターチューブを押しした状態で保持し、アクスルホルダーとロックナット間に分解時に製作したストッパープレート③で固定します。

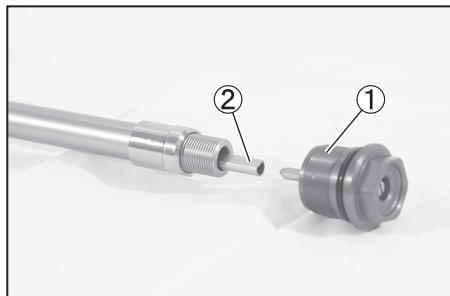


フロントフォークのスプリングの交換方法

4. センターボルト COMP ①をプッシュロッド②のD形状に合わせて入れます。

【要点】

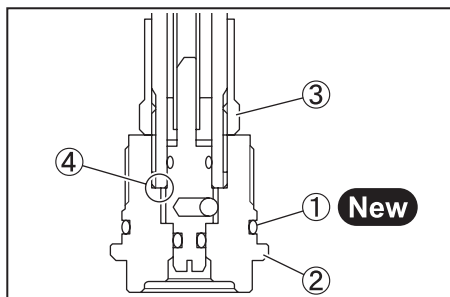
プッシュロッドの断面D形状に合わせて入れます。



5. 新品のOリング①にグリースを塗布し、センターボルト②に取り付けます。
6. センターボルトをプッシュロッドのD形状に合わせてながら、④のように突き当たるまで締め込みます。

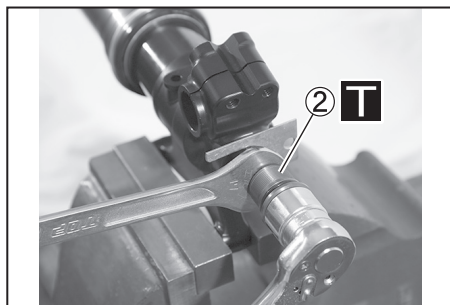
【要点】

ロッドパイプをセンターボルトに④のように突き当たるまで締め込みます。



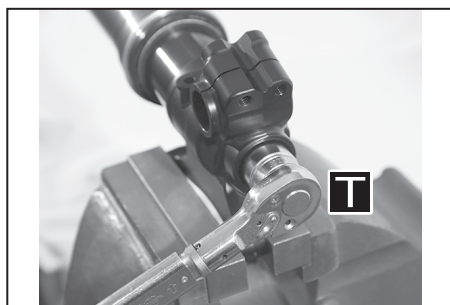
7. ロックナット③をセンターボルト②にあたるまで手締めします。
8. ロックナットを保持し、センターボルトを指定トルクで締め付けてください。

締め付けトルク：28 N・m



9. アウターチューブを押した状態で保持して、ストッパープレートを取り外します。
10. センターボルトを指定トルクでアクスルホルダーへ締め付けてください。

締め付けトルク：69 N・m

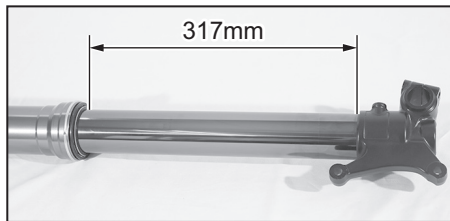


フロントフォークのスプリングの交換方法

- 11.フロントフォーク ASSY をバイスから取り外します。
- 12.アクスルホルダー部とアウターチューブ間の距離を測定し、標準値内であることを確認してください。

【要点】

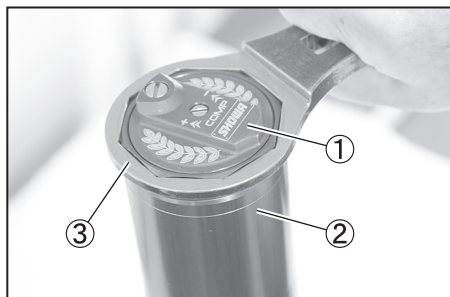
標準：317 mm



- 13.専用工具を使用して、クッション S/COMP ①をアウターチューブ②から取り外します。

【要点】

専用工具：ロックナットレンチ、50 mm ③



- 14.フォークチューブ内に作動フォークオイルを注入します。

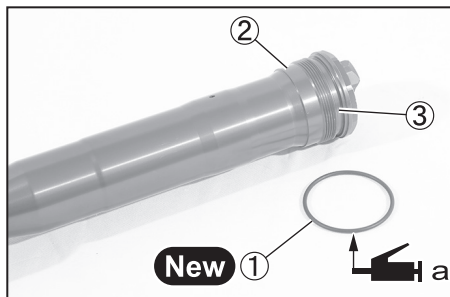
【要点】

作動フォークオイル：A15-00

標準オイル量：320 cm³



- 15.新品のOリング①にグリースを塗布して、ダンパー COMP ②の溝部③に取り付けます。



フロントフォークのスプリングの交換方法

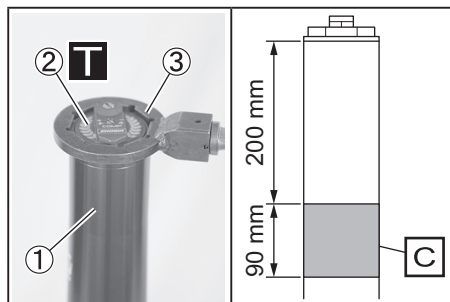
16.アウターチューブ①をゆっくり引き上げ、

クランプ部 **C** を固定して、専用工具を使用して、ダンパー COMP ②をアウターチューブに取り付け、指定トルクで締め付けてください。

締め付けトルク：76 N・m

【要点】

専用工具：ロックナットレンチ、50 mm ③



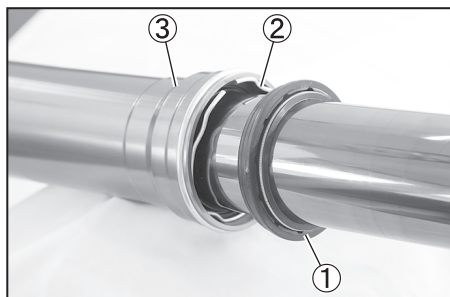
ダストシールおよびオイルシールの交換方法

取り外し

取り外し手順は、「●クッションS/COMPの取り外し」(7ページ)、「●アウターチューブ内の作動フォークオイルの排出」(7ページ)、「●スプリングの取り外し」(8ページ)を参照してください。

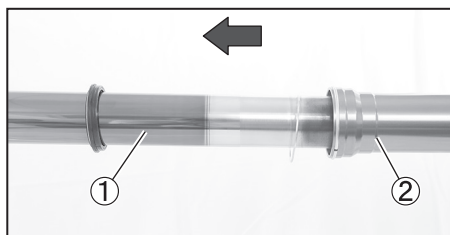
●ダストシール、ストッパーリングの取り外し

1. ダストシール①、ストッパーリング②をアウターチューブ③から取り外します。

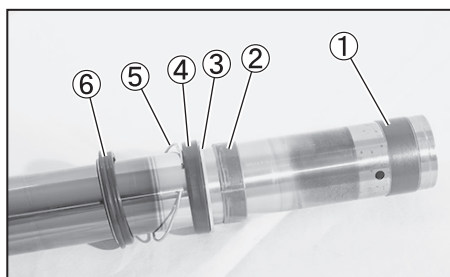


●スライドパイプの取り外し

1. スライドパイプ①を引き当てる動作を数回繰り返して、スライドパイプをアウターチューブ②から取り外します。



2. スライドブッシュ①の割面をマイナスドライバーなどで開きながらスライドブッシュを取り外します。
3. ガイドブッシュ②、バックアップリング③、オイルシール④、ストッパーリング⑤、ダストシール⑥を取り外します。



ダストシールおよびオイルシールの交換方法

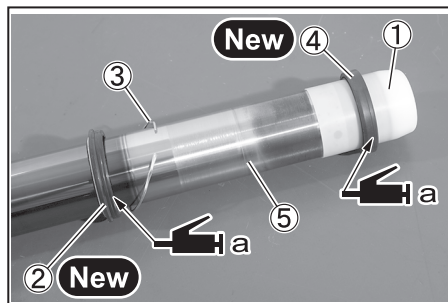
取り付け

●スライドパイプ COMP の組み立て

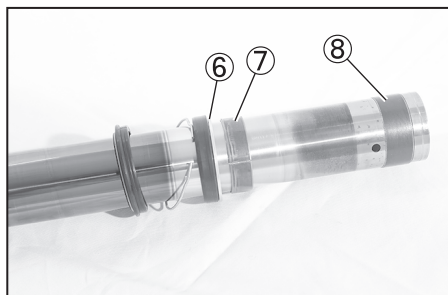
1. シールのリップ部を保護するために、スライドパイプに治具①を取り付けます。
2. 新品のダストシール②、オイルシール④のリップ部にグリスを塗布します。
3. ダストシール②、ストッパーリング③、オイルシール④をスライドパイプ⑤に取り付けます。

【要点】

マーク面をダストシール側に向け、オイルシールをスライドパイプに取り付けます。

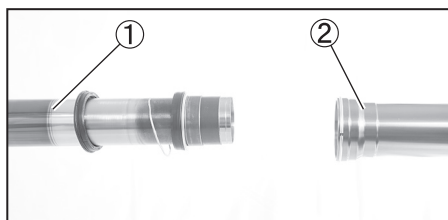


4. 治具①を取り外し、シールスペーサー⑥、ガイドブッシュ⑦、スライドブッシュ⑧を取り付けます。



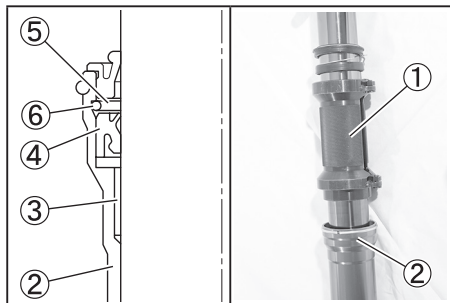
●スライドパイプ COMP のアウターチューブへの取り付け

1. スライドパイプ COMP ①をアウターチューブ②に挿入します。



ダストシールおよびオイルシールの交換方法

2. フォークツールドライバー（市販品）①を使い、ガイドプッシュ③、オイルシール④の順番でアウターチューブ②に打ち込みます。
3. オイルシール④を、ストッパーリング溝が見える位置まで打ち込みます。
4. ストッパーリング⑤をアウターチューブのストッパーリング溝⑥へ確実に取り付けます。
5. フォークツールドライバー（市販品）を使用して、ダストシール⑦をアウターチューブに圧入します。



フロントフォークのトラブルシューティング

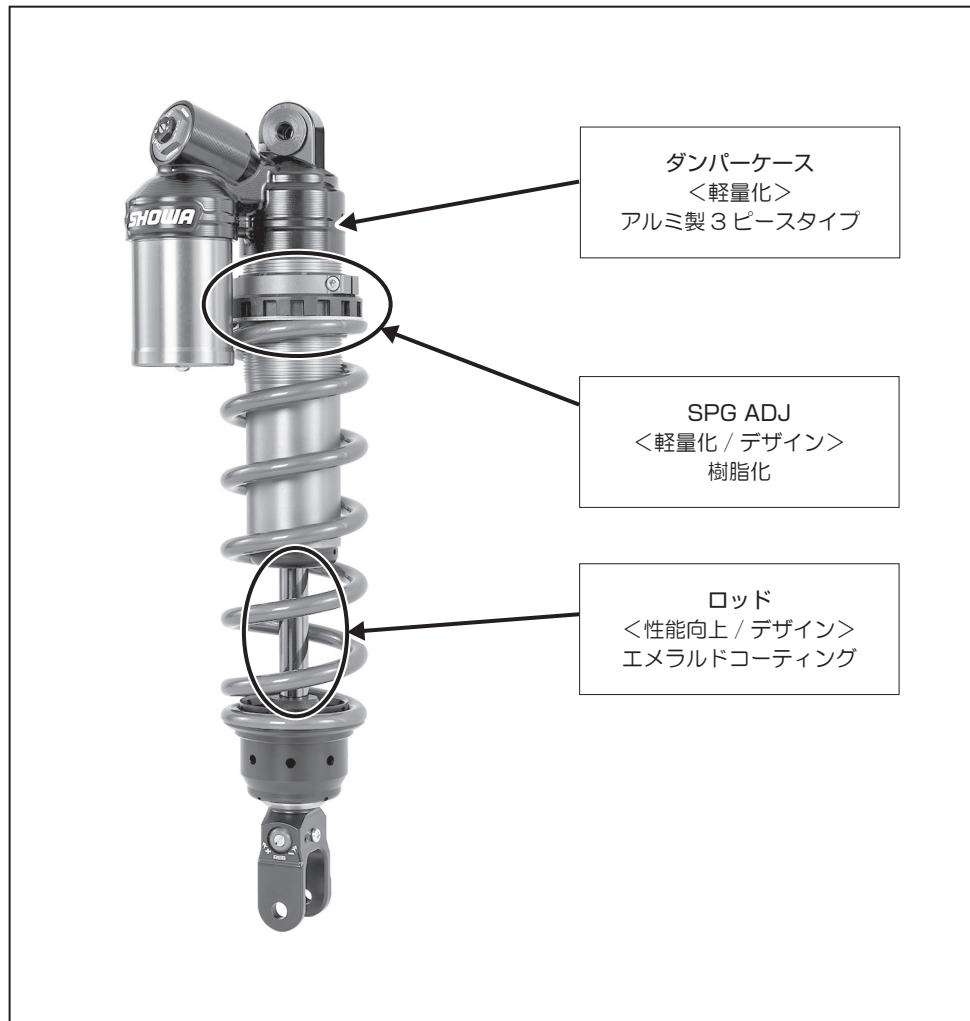
症状	原因	対処
サスペンションの作動が柔らかい	減衰力の調整不良	調整
	作動フォークオイルの粘度が低い	オイル交換（SHOWA 純正）
	作動フォークオイル量が少ない	オイル量の調整
	スプリングのへたり	スプリングの交換
サスペンションの作動が硬い	スライドパイプの曲り	直ちに使用を中止し、販売店もしくは取り付け店で確認
	作動フォークオイルの粘度が高い	オイル交換（SHOWA 純正）
	作動フォークオイル量が多い	オイル量の調整
フロントフォークの異音	損傷	直ちに使用を中止し、販売店もしくは取り付け店で確認

リヤクッションの概要

製品特長

KTM 車両向けの A-KIT のリヤクッションは、フロントフォークと同様に AMA および MXGP で実証されたサスペンション技術をフィードバックしています。

ダンパーケースは、アルミ製の 3 ピースタイプにすることで、軽量化しています。そして、SPG ADJ を樹脂化して、軽量化とデザイン性を向上しています。さらに、ロッドに「エメラルドコーティング」を適用して、性能向上とデザイン性の向上を行っています。



リヤクッションの概要

仕様一覧

スプリング	レート (N/mm)	46
作動オイル	油種	SS25
	ダンパー油量	392 cc
充填ガス圧	kPa	900
ロッドサイズ	φ	18
減衰力	コンプレッション低速	Max - 20 クリック
	コンプレッション高速	Max - 2-5/6 クリック
	リバウンド	Max - 20 クリック

推奨点検項目

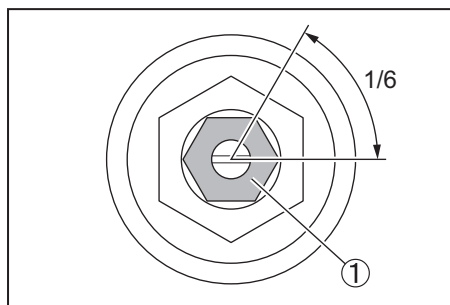
	走行前	半年	1年
外観の異常確認、ボルトの抜け、亀裂、ゆがみ等	✓	✓	✓
リヤクッションの作動確認	✓	✓	✓
リヤクッションのオイル漏れ	✓	✓	✓

調整方法

● 高速側コンプレッションの調整

1. アジャスタ①を時計回転方向に、止まるまで回します（最強の位置）。
2. 標準位置を出します。最強位置から反時計回転方向へー2回転とー5/6回転アジャスタを回します。

⚠ 注意	最強位置および最弱位置から、さらに回さないでください。リヤクッションの破損の原因となります。
------	--



【要点】

- 時計回転方向に回すと強くなり、反時計回転方向に回すと弱くなります。
- 調整は 1/6 回転ずつ行ってください。
- 必ず最強位置から調整始めてください。

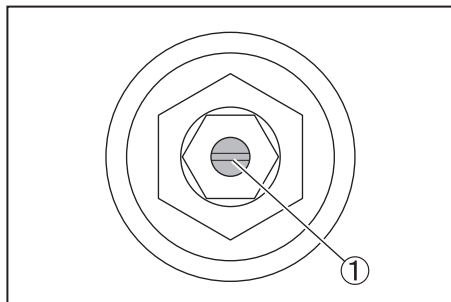
リヤクッションの概要

●低速側コンプレッションの調整

1. アジャスタ①を時計回転方向に、止まるまで回します（最強の位置）。
2. 標準位置を出します。最強位置から反時計回転方向へ回します。20クリックで合わせます。



最強位置および最弱位置から、さらに回さないでください。リヤクッションの破損の原因となります。



【要点】

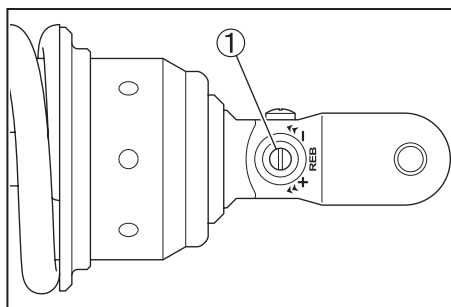
- 時計回転方向に回すと強くなり、反時計回転方向に回すと弱くなります。
- 必ず最強位置から調整を始めてください。
- 最弱位置から最強位置まで30クリック（8クリック / 1回転）以上調整できます。
- アジャスタは必ずクリック位置で止めてください。

●リバウンド減衰力の調整

1. アジャスタ①を時計回転方向に、止まるまで回します（最強の位置）。
2. 標準位置を出します。最強位置から反時計回転方向へ回します。最強位置から20クリック目が標準位置です。



最強位置および最弱位置から、さらに回さないでください。リヤクッションの破損の原因となります。



【要点】

- 時計回転方向に回すと強くなり、反時計回転方向に回すと弱くなります。
- 必ず最強位置から調整を始めてください。
- 最弱位置から最強位置まで30クリック（8クリック / 1回転）以上調整できます。
- アジャスタは必ずクリック位置で止めてください。

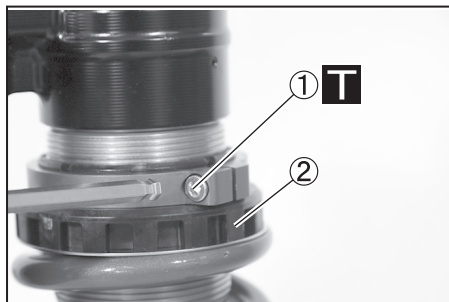
リヤクッションの概要

●スプリング取り付け長さの調整

1. バンドのボルト①を六角レンチ（4 mm）で緩めます。
2. SPG ADJ ②を回し、スプリング取り付け長さを調整します。

【要点】

- スプリング取り付け長さ標準：243 mm
- 標準スプリングの場合、SPG ADJ 1 回転でスプリング取り付け長さが、2.0 mm 変化します。



3. 調整後、バンドのボルト①を指定トルクで締め付けてください。


締め付けトルク：5 N·m

オプションパーツのお知らせ

車高調整やセッティング変更の幅を広げるため、交換用のスプリングをオプションパーツとして設定しています。購入の際は、指定の販売店もしくは取り付け店にご相談ください。

レート (N/mm)	仕様
48	ハード
46	スタンダード（工場出荷時取り付け品）
44	ソフト

リヤクッションの取り付け方法（標準仕様からの交換）

 警告	必ず専門的な知識および技術を持つ販売店もしくは取り付け店で取り付け作業を行ってください。
---	--

リヤクッションを交換するときは、必ず以下の要領で車両姿勢の調整を実施してください。

交換前車高測定

1. 車両を地面に置いた状態で後輪のアクスルシャフトから上部フレームまでの距離を測定し、値を記録します。
2. ライダーが乗車した状態で同様に測定し、値を記録します。
3. 車両をジャッキアップし、後輪が下がりきった状態で同様に測定し、値を記録します。

取り付け

1. 車両の標準リヤクッションを取り外します。

【要点】


リヤクッションの取り外し方法については、車両メーカーのサービスマニュアルを参照してください。

2. A-KIT リヤクッションを車両に取り付けます。


【要点】

- リヤクッションの取り付け方法については、車両メーカーのサービスマニュアルを参照してください。
- 各ボルトの締め付けトルクは、車両メーカーのサービスマニュアルを参照してください。

交換後車高測定

 警告	交換後は、フロントフォークのキャスター角が交換前の状態から変化しています。そのまま走行すると、車両の挙動が不安定になったり、ブレーキフィーリングが変化したりして非常に危険です。走行前に必ず車両姿勢の調整を実施してください。
---	---

交換前と同様に測定し、交換前の値と同じになるようにスプリングプリロードを調整します。（24 ページ参照）

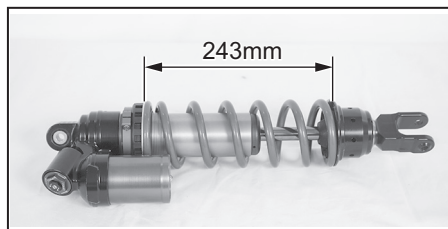
 注意	<ul style="list-style-type: none">• 取り付け時の車高の調整はスプリングプリロードにより行います。• 調整が難しい場合は、SHOWA 製品取り扱いの販売店もしくは取り付け店にご相談ください。
---	---

リヤクッションの Springs の交換方法

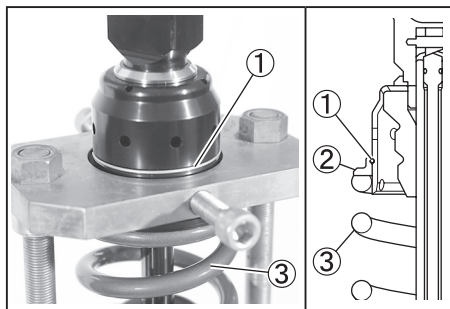
取り外し

● Springs の取り外し

1. Springs 取り付け長さを測定して記録します。



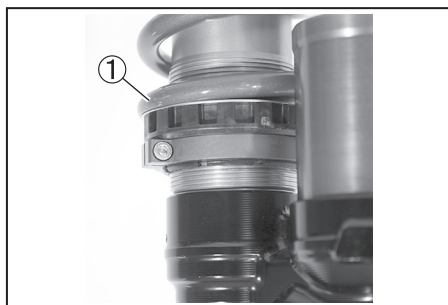
2. Springs ③ を Springs 圧縮用ツールで圧縮し、ストッパーリング B ①、SPG シート B ② を取り外します。
3. Springs ③ を取り外します。



取り付け

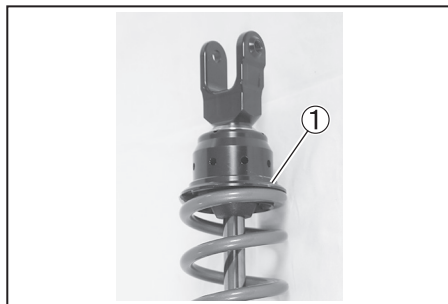
● Springs の取り付け

1. Springs ① を取り付けます。



リヤクッションの Springs の交換方法

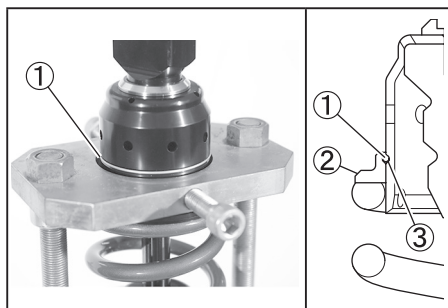
2. SPG シート B ① を取り付けます。



3. スプリングを圧縮して、SPG シート B ② を下げて、ストッパーリング B ① を取り付けます。

【要点】

SPG 圧縮を外した後、ストッパーリング B ① が SPG シート B ② の溝③ に完全に着座していることを確認してください。



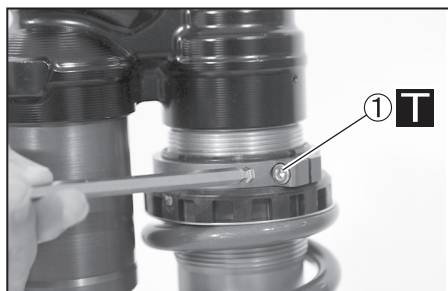
4. 分解時に測定し記録したスプリング長に達するか、以下に指定されたスプリング長になるまで、SPG シートを回します。「●スプリング取り付け長さの調整」(21 ページ) を参照。

【要点】

スプリング取り付け長さ：243 mm

5. バンドを保持し、ボルト①を指定トルクで締め付けてください。

締め付けトルク：5 N・m



リヤクッションのトラブルシューティング

症状	原因	対処
リヤクッションが柔らかい	減衰力の調整不良	調整
	封入ガス圧力が低い	直ちに使用を中止し、販売店もしくは取り付け店で確認
	スプリングのへたり	スプリングの交換
リヤクッションが硬い	ロッドの曲り	直ちに使用を中止し、販売店もしくは取り付け店で確認
	クッションベアリングのグリース切れ	直ちに使用を中止し、販売店もしくは取り付け店で確認
	封入ガス圧力が高い	直ちに使用を中止し、販売店もしくは取り付け店で確認
リヤクッションの異音	損傷	直ちに使用を中止し、販売店もしくは取り付け店で確認
	クッションベアリングの摩耗	直ちに使用を中止し、販売店もしくは取り付け店で確認

不許複製

名称 : GP Series A-KIT for KTM

部品番号 : T634000-OMJ1

発行 : 株式会社ショーワ

2019年11月